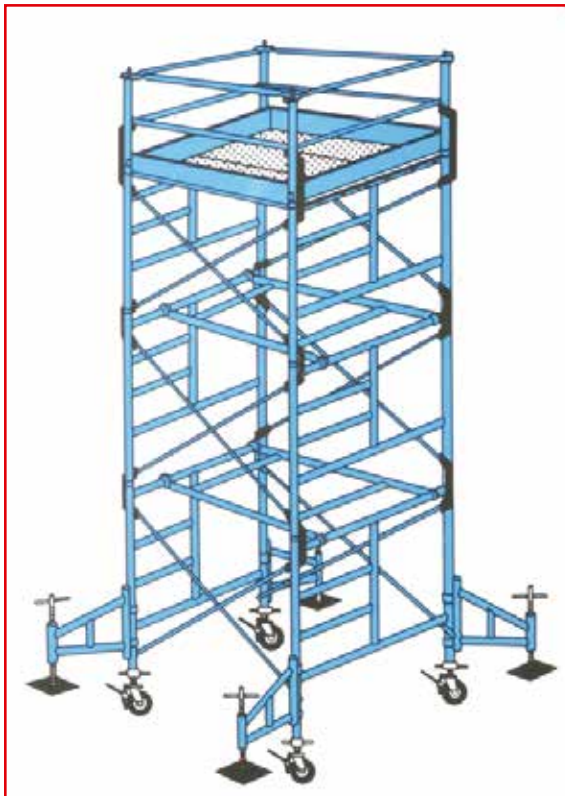


+ ローリングタワーは正しく安全に

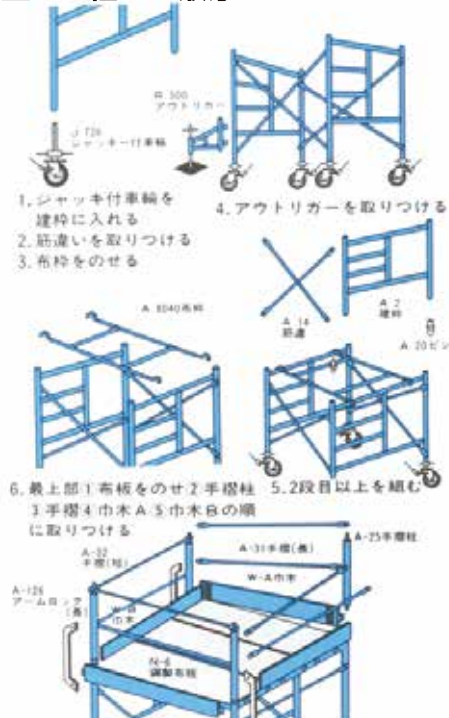


※中段部は布枠ではなく、布板×2枚でお出ししております。

●取扱い上のご注意

- 1.作業床、枠組み、脚輪、手摺等の接続部は使用中容易に離脱しない様結合する。
- 2.人を乗せたまま移動しない事。
- 3.やむをえず手摺をはずして作業する場合は命綱を使用する事。
- 4.脚輪のブレーキは移動中を除き常に作動させておく。又効き具合を確認する。
- 5.凸凹又は傾斜が著しいところでは、ジャッキ等により作業床の水平を保持する事。
- 6.許容積載荷重を超えた荷重を乗せてはならない。
- 7.材料等は転倒を防ぐため偏心しないようにのせる事。
- 8.移動式足場の上では、梯子、脚立等を使用しない事。

●正しい組立て順序



●安全基準

- 1.作業床の積載荷重は200kg以内とする。
- 2.手摺については高さ90cm以上で中棧付きを使用する。
- 3.作業床はすき間が3cm以下となるよう全面に敷きならべ、又高さ10cm以上の巾木を周囲に取り付ける。
- 4.作業床の高さは脚輪の主軸間隔とに依り次式の高さ以下とする。
 $H = 7.7L - 5.0$ $H = \text{作業床高さ}$
 $L = \text{主軸間隔 (各単位:M)}$
 ●例 $L = 1.5\text{M}$ の場合
 $H = 7.7 \times 1.5 - 5.0 = 6.55\text{M}$
 ※ **4段迄可能**。それ以上の場合は控わく(アウトリガー)を使用する。
- 5.脚輪の直径は125mm以上とし、ブレーキの完備したものを使用する事。
- 6.昇降設備は踏棧の長さが30cm以上、かつ踏棧の間隔が40cm以下で等間隔である事。
 (建枠A-2使用の場合はこの条件を満たす。)

会社名

作業主任者(指揮者)名